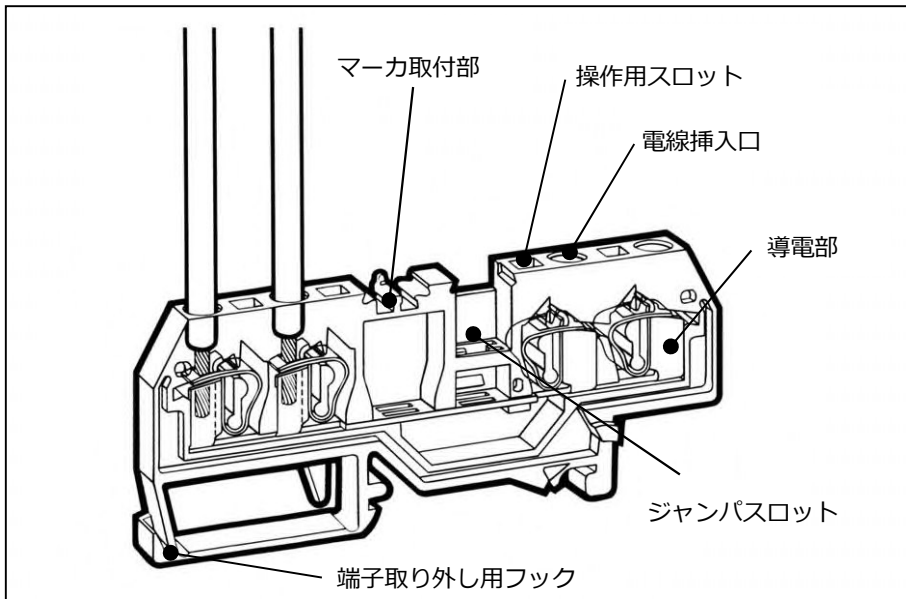


結線作業説明書

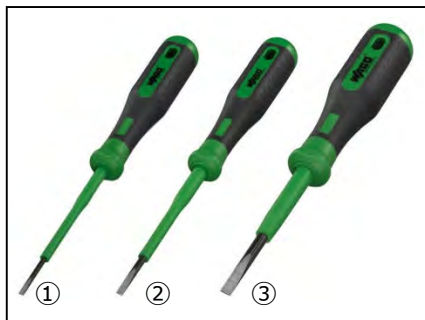
ケージクランプレールマウント端子台 フロントエントリー 279~285 シリーズ

■ 構造 端子台の構造および各部の名称



■ 使用工具

●必ず正しい工具をご使用ください。



型番	種類	適合端子台
① 210-719	小	279 シリーズ
② 210-720	中	280~281 シリーズ
③ 210-721	大	282~285 シリーズ

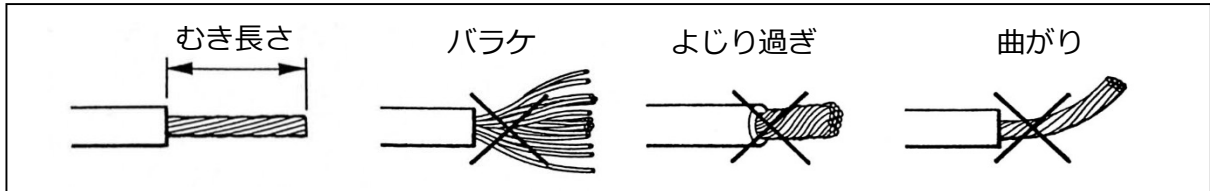
●ワイヤストリッパは、むき長さが守れ、電線を傷つけないものをご使用ください。



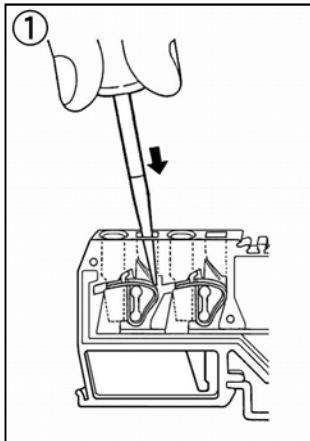
型番	適合電線範囲
206-1125	0.03~16mm ²

- **電線のむき出し** ○必ず規定のむき長さを守ってむき出してください。
また、電線の先端の状態に注意してください。

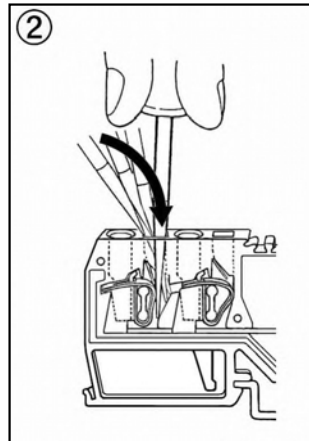
279・280 シリーズ	281 シリーズ	282・284 シリーズ	283 シリーズ	285-635
8~9mm	9~10mm	12~13mm	16~17mm	23mm (38mm ² ストランド線 使用時は16mm)



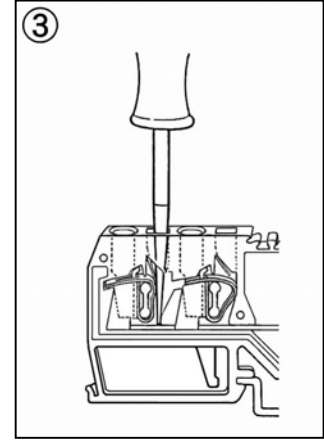
- **結線作業** ○下図に従って作業してください。



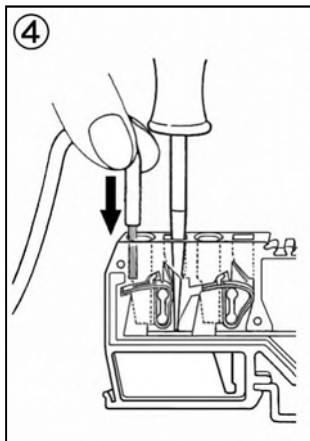
① ドライバを操作用スロット
(角穴)に斜めに差し込みます



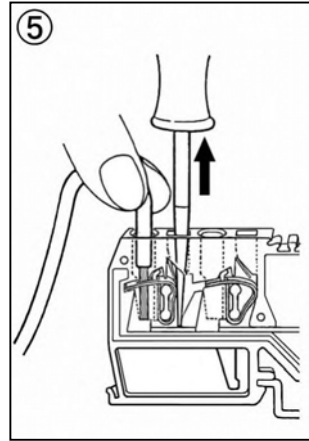
② ドライバを立てるようにしながら、
奥までしっかり差し込んでください



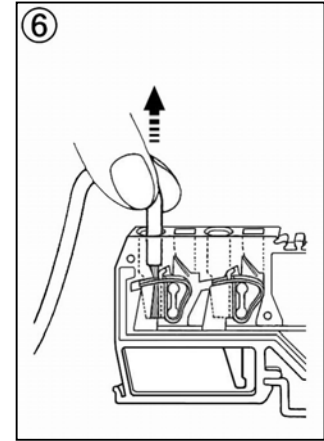
③ 正しく操作すれば、ドライバは
手を離しても保持されます



④ 正しくむき出した電線を電線
挿入口(丸穴)に差し込みます



⑤ 電線を突き当たるまで差し込み
電線を押さえたままドライバを
抜いてください



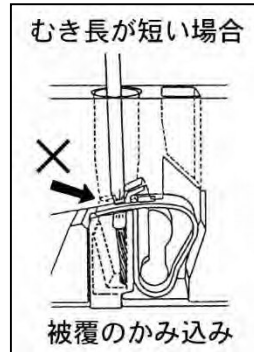
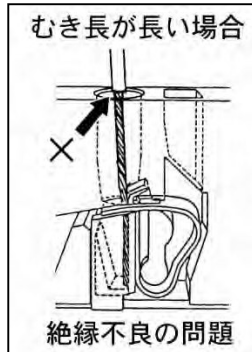
⑥ 確認のため、電線を軽く
引っ張ってください
(強く引っ張らないでください)

※原則として1つの電線挿入口には1本の電線を接続して下さい。
(JIS 9960-1(IEC 60204-1) 13.1.1 一般要求事項による。)

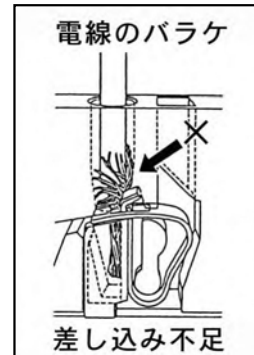
- **離線作業** ○結線作業と同様にドライバを差し込めば、電線を取り外せます。

■ 作業上の注意事項

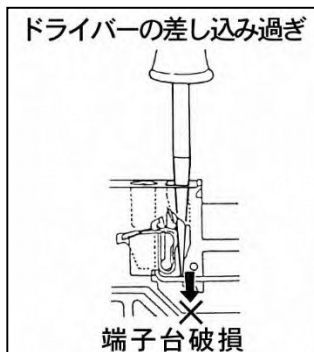
①電線のむき長さは、必ず守ってください



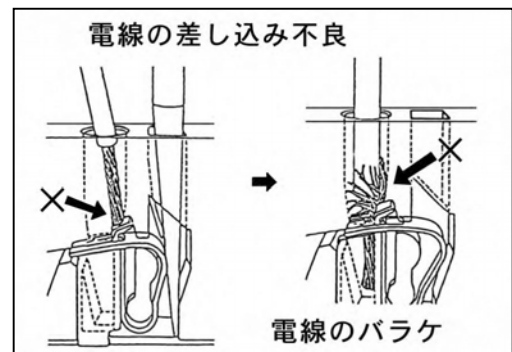
②電線のバラケに注意してください



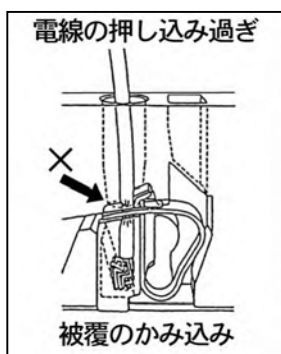
③無理な操作はしないでください



④電線は正しく挿入してください

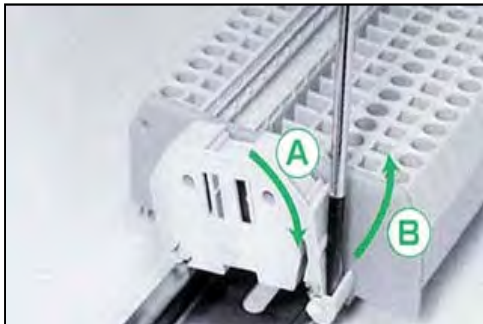


⑤電線被覆のかみ込みに注意してください。



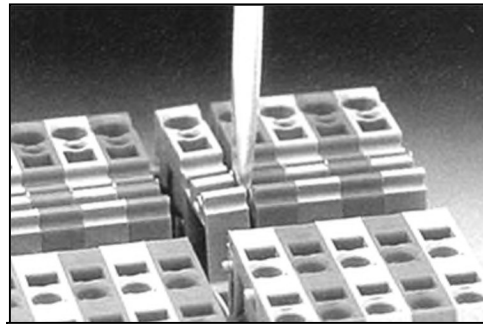
※結線作業時にドライバーを操作用スロットに差し込んだ状態で左右に力が加わりますと、端子台間にわずかな隙間が発生する事がありますが、電氣的・機械的な問題はありません。ドライバーを差し込んだ状態で左右に無理な力を加えない様に操作してください。

■ 端子台の追加、取り外し、移動方法



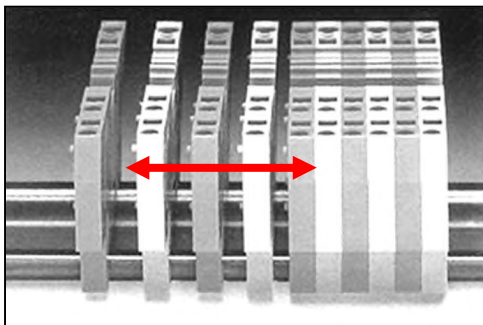
エンドストップのフックをドライバで外側に引き出し、持ち上げます。

注意：通電状態では作業しない事！



端子台の間をドライバで広げ、端子台を離します。

注意：マーカがある場合はあらかじめ取り外してください。

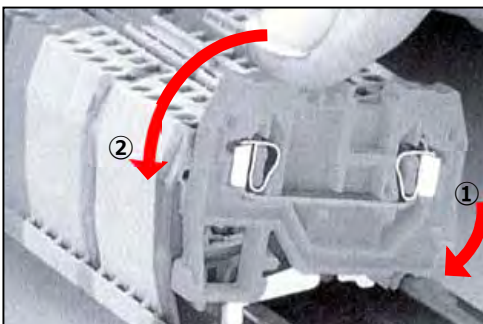


端子台を必要な間隔にスライドして調整します。



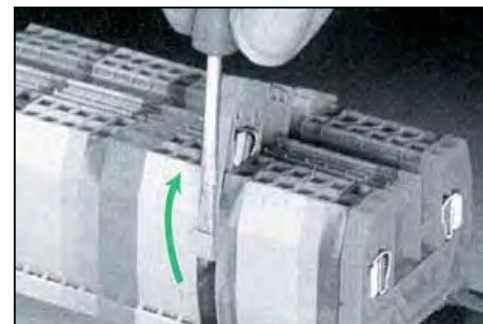
端子台開放側の終端にはエンドプレートが必要です。

● 取り付け



始めにフックと反対側の足をレールのフチにはめ込み、次にフック側を押し込みます。

● 取り外し



端子台のレール取付部のフックをドライバで外側に引き出し、持ち上げます。

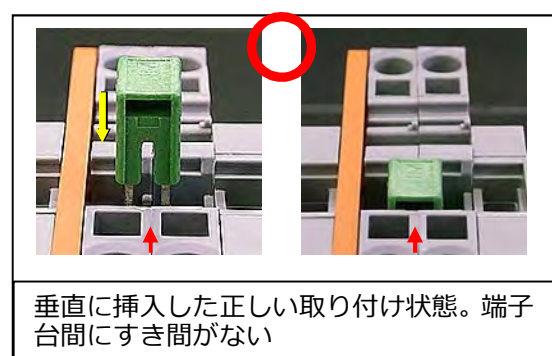
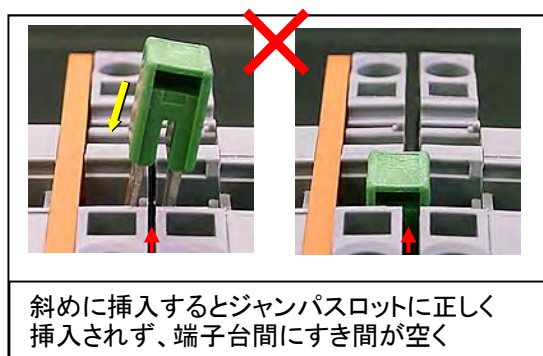
端子台を追加または取り外した後、全ての端子台がすき間なく並ぶようにスライドしてください。エンドストップを再度取り付けて固定すれば完了です。

■ ジャンパ取り付けについての注意事項

1. ジャンパを取付ける場合、下図のように端子台のジャンパスロットの正しい位置に差し込むこと

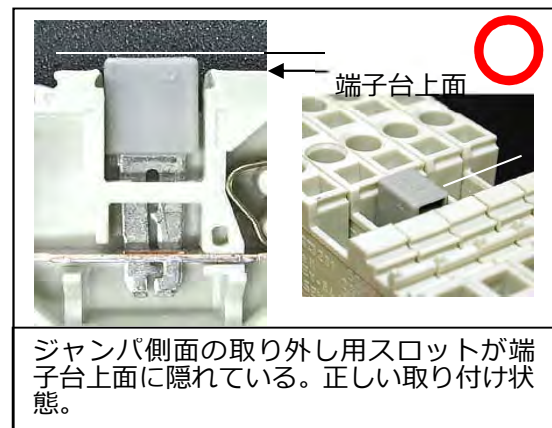
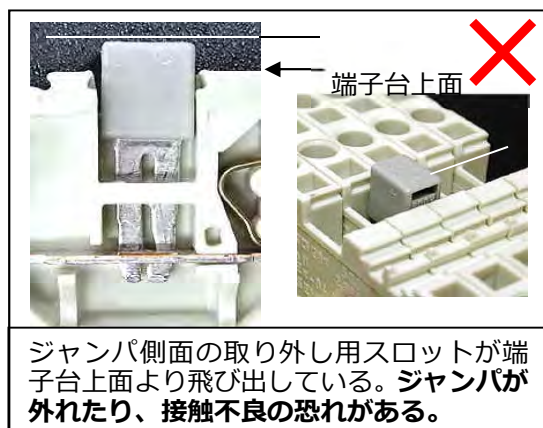


2. ジャンパは垂直に挿入してください。

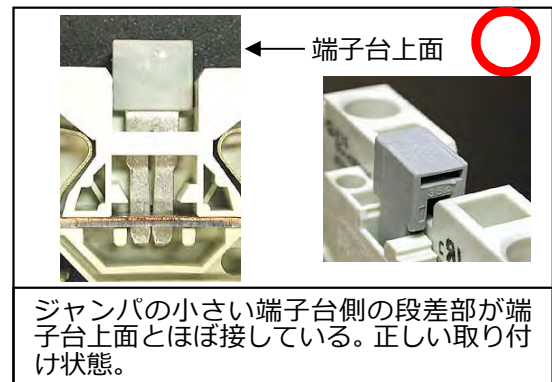
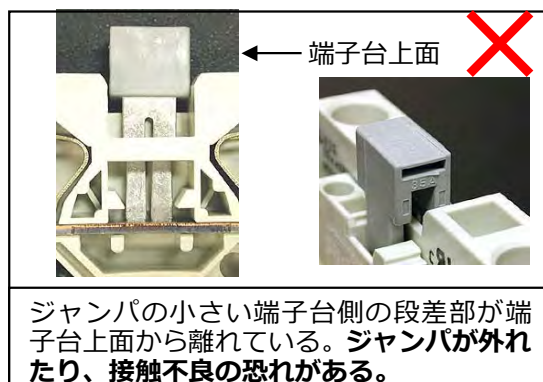


3. ジャンパ先端が端子台のジャンパスロットに奥までしっかりと挿入されるように取り付けること

● 隣接ジャンパの場合



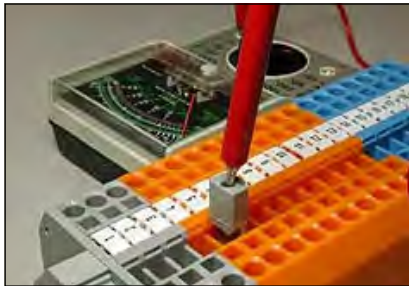
● ステップダウンジャンパの場合



■導通試験

1. テストプラグアダプタを使用する

端子台のジャンパスロットに、テストプラグアダプタを取り付け、テストで試験を行う



適合 端子台シリーズ	テストプラグアダプタ 型番	
	テスト穴径 φ2.3mm	テスト穴径 φ4mm
279~281	209-170	280-404
282		×
284		×
283・285	×	283-404

2. 端子台のジャンパスロットを使用する

端子台のジャンパスロットに、直接テスト棒を押し当て、テスト試験を行う

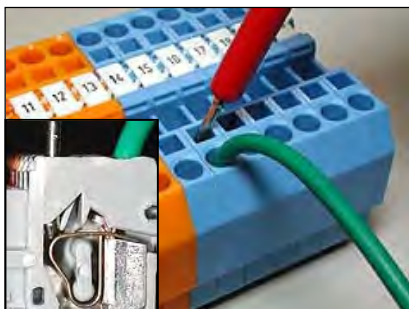


★注意

- テスト棒は強く差し込まない事。
軽く押し当てるだけで計測できます。
- 強く押し込むとジャンパスロットを破損する
恐れがあります。

3. 操作作用スロットを使用する

端子台の操作作用スロットに、直接テスト棒を押し当て、テスト試験を行う



★注意

- テスト棒は強く差し込まない事。
軽く押し当てるだけで計測できます。
- 奥まで差し込むと電線が外れてしまいます。
恐れがあります。

■ 結線後の保守

- ケーブルクランプは、常にスプリングによって電線が保持されており、振動にも強く緩みません。正しく結線されれば保守の必要はありません。
- 結線後の確認は、電線を軽く引っ張り抜けてこないことを確かめてください。
- 前項の「作業上の注意事項」を厳守し、正しく結線してください。

■ 電線の結束、固定

- 結線後長期間にわたり端子接続部の信頼性を維持するために下記の様に電線の結束、固定を行ってください。
- ★ ケーブルダクトなどを使用している場合は特に必要有りません。

① 電線相互の結束（電線の共振対策）

結線を終えた電線は端子台の電線挿入口に近い位置（5 cm以内が好ましい）で、数本の電線を結束バンド（インシュロック）などで束ねてください。これにより、振動による電線の共振を防ぎ端子台接続部を保護できます。

② 電線束の固定（引張力対策）

①の作業の後、電線束ごとに間隔をおいて捕縛し、電線束を端子台を固定している板やフレームにしっかりと固定してください。これにより、電線にはたらく引張力（電線の重量）を防ぎ端子台接続部を保護できます。

